

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市環境基本計画2016～2025, 京都市循環型社会推進基本計画（2015～2020）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	a	a	775	769	764	99.3%	b	1.00
2	ごみ焼却量(トン)	a	a	38.9万	38.6万	37.9万	98.2%	b	1.00
3	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	359	356	360	98.9%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	a	118 25.3%	241 51.6%	82 17.6%	18 3.9%	8 1.7%	467
2	ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	a	114 24.4%	221 47.2%	89 19.0%	27 5.8%	17 3.6%	468
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						29年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28年度	A
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	マイボトル推奨等サポート事業	6,263	6,264	普通	環境政策局
2	イベント等のエコ化の推進	24,002	23,298	普通	環境政策局
3	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	10,789	10,998	良い	環境政策局
4	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	8,244	9,072	良い	環境政策局
5	ごみ減量推進会議の活動の支援	62,540	63,811	良い	環境政策局
6	生ごみ減量推進事業	27,240	36,708	良い	環境政策局
7	小型家電リサイクル事業	15,407	17,277	かなり良い	環境政策局
8	事業ごみ減量、分別・リサイクル対策	197,650	178,966	かなり良い	環境政策局
9	食品ロス削減等推進事業	32,781	39,623	かなり良い	環境政策局
10	紙ごみ削減推進事業	0	41,907	—	環境政策局
11	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	30,396	33,809	良い	環境政策局
12	コミュニティ回収等の集団回収事業	60,423	69,627	普通	環境政策局
13	資源物の拠点回収の推進	99,160	101,525	良い	環境政策局
14	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	11,353	14,001	良い	環境政策局
15	「世界一美しいまち・京都」の推進	34,565	36,237	良い	環境政策局
16	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	17,511	14,486	良い	環境政策局
17	移動式拠点回収事業	20,541	23,033	良い	環境政策局
18	観光トイレ制度	28,457	40,687	かなり良い	環境政策局
19	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	18,397	19,391	普通	環境政策局
20	京都環境保全公社への府市協調支援	865,556	690,556	かなり良い	環境政策局
21	大岩街道周辺地域対策(岡田山撤去関連事業等)	38,151	39,780	かなり良い	環境政策局
22	廃棄物排出事業者指導業務(産業廃棄物)	63,788	62,020	普通	環境政策局
23	し尿前処理施設再整備事業	432,442	0	—	環境政策局
24	焼却灰の資源化の試行実施	18,916	12,614	—	環境政策局
25	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	6,932,726	11,675,851	—	環境政策局
26	埋立処分地整備事業	277,953	269,286	—	環境政策局
27	魚アラ中継施設整備	0	62,112	—	環境政策局
28	バイオマス活用の推進	33,125	24,169	—	環境政策局
29	「新・京都市ごみ半減プラン」の進ちょく管理	32,687	29,516	—	環境政策局

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・「2R」と「分別・リサイクルの促進」の2つを柱とするごみ減量施策を推進し、資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減、さらには「もったいない」や「しまつ」といった京都らしいライフスタイルなどの定着を図り、市民、事業者とともに、全国のモデルとなる持続可能な循環型社会の構築に取り組む。

・クリーンセンターの施設保全計画を更新し、適切な補修等の整備を行うことで、安定したごみ焼却を行い、発電効率の向上に努める。

・以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感の維持、更なる向上を図り、ごみを出さない循環型社会の構築を推進する。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）					
担当課	ごみ減量推進課		連絡先	2 1 3 - 4 9 3 0		
1 指標の説明						
一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)						
2 指標の意味						
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	775	769	6グラム減	764	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	99.3%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		730グラム	32年度	94.7%	京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）	
5 評価基準						
最新値－目標値が、 a：0グラム以下 b：0グラム超～39グラム以下 c：39グラム超～77グラム以下 d：77グラム超～116グラム以下 e：116グラム超						
6 基準説明						
当年度の目標値（764グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ量（880グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（約39グラム間隔）で基準を設定。評価基準は、毎年、当年度の目標値により変更される。						
7 評価結果						
282930						
ab						

指標名	ごみ焼却量（トン）					
担当課	ごみ減量推進課		連絡先	2 1 3 - 4 9 3 0		
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみの焼却量						
2 指標の意味						
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」と分別・リサイクルの推進状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	38.9万	38.6万	0.3万トン減	37.9万	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	98.2%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		35万トン	32年度	89.7%	京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）	
5 評価基準						
最新値－目標値が、 a：0トン以下 b：0トン超～2.0万トン以下 c：2.0万トン超～4.0万トン以下 d：4.0万トン超～6.1万トン以下 e：6.1万トン超						
6 基準説明						
当年度の目標値（37.9万トン）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ焼却量（44万トン）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（約2.0万トン間隔）で基準を設定。評価基準は、毎年、当年度の目標値により変更される。						
7 評価結果						
282930						
ab						

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)					
担当課	施設管理課		連絡先	2 1 2－9 8 2 0		
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量						
2 指標の意味						
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却量 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 28年度	最新数値 29年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	359	356	3(kWh/t)減	360	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値(450kWh/t)に対する当年度の計画値	98.9%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		450kWh/t	32年度	79.1%	京都市循環型社会推進基本計画<2015－2020>で掲げるごみ量等の目標数値から設定	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満						
6 基準説明						
全クリーンセンターにおける発電量を焼却量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
28		29		30		
a		a		a		